

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和4年7月22日
タイトル	稲の生育観察と田んぼの生き物調査
水土里レポーター名	北海道ふるさと・水と土指導員 小野寺 孝 一

水土里ネットとうま（当麻土地改良区：理事長 太田正人）では7月15日（金）当麻小学校5年生（48名）を対象に稲の生育観察と田んぼの生き物調査を実施しました。

5月31日に植えた「きたくりん」が60cmほどに育ち出穂も始まった水稻の高さを測ったり、穂のスケッチをしたり、穂を指さしてこれがお米になるの？と質問をしていました。



「きたくりん」の穂が出ています



田んぼの生き物をさがす？

また、田んぼの生き物調査ではカエルが一番人気でカエルを何10匹も捕まえた児童もいて帰りに先生に田んぼに戻しなさいと言われていました。

カエルを触れない児童もいて逃げ回っていました(笑)。

他には「ドジョウ」「タニシ」「トンボ」などが生息していました。減農薬栽培なので生き物が生息しているんだよ。と説明を受けていました。



たくさんのタニシが生息



カエルとタニシの共存



例年より少し早いトンボの出現

この次の田んぼの学校は9月末もしくは10月初旬に町民収穫祭（稲刈り）開催予定ですが新型コロナウイルス感染でどうなる？早くコロナが収束したら良いですね。最近感染者が増加傾向にありますね

